

“かたちにしていく力”

ラスコは、2024年10月で創業60年を迎えました。そんな節目の2024年6月より工場運営電力の全てを再生可能エネルギー由來の電力(グリーン電力)とし、実質CO₂排出ゼロ工場をスタートしました。もっと地球にやさしいラスコを目指して、これからも持続可能な進化を続けています。

RASCO 埼玉県加須市北平野807番地2 https://www.rasco.co.jp/

AIRAVO ラジコン式ハンマーナイフ草刈機

高い刈取り能力 軽トラック積載可能 低価格帯

連続作業時間 約2時間
※ガソリン満タン時の目安時間で作業環境により異なります。

最大作業角度 全方位30度
機体バランスを追及してクローラを採用

作業速度 2km/h 3.2km/h
走行速度 0~4km/h

刈高さ調節 0~180mm
刈幅 700mm
青丈などの草をチップ状に粉碎

お問い合わせ> 本社:岡山市東区九幡1119-1 TEL:086-948-5962

第58回 グッドカンパニー大賞

きょう 表彰式

中小企業研究センター(東京都台東区、林信秀理事長)は、「第58回グッドカンパニー大賞」の表彰企業を発表し、全国から製造業や食品、水産業など17社の中小企業が選ばれた。4月14日から東京・大手町の経団連会館で表彰式が行われる。



グッドカンパニー大賞は、産業界の有力企業を会員に任意団体として1966年に発足した企業の総合的・実証的な調査研究事業と事業を主な活動としている。グッドカンパニー大賞は設立時の「中小企業研究センター賞」を、第40回の節目に改称したもの。選定の対象となるのは中小企業が定義する中小企業で、創業あるいは設立後3年以上の法人および個人企業(上場企業や、同法に定義する中小企業の基準を超える企業の子会社・関連会社は除く)。同賞は全国水準において優れた企業に贈られる「グランプリ」、グランプリに準ずる優れた企業への「優秀企業賞」のほか、現代社会の重要な要請に対応して特に貢献度が高く、さらに新事業・新技術の独創性、革新性に秀でており、将来性があると認められる企業への「特別賞」、さらに新事業・新技術の独創性、革新性に秀でており、将来性が認められる企業への「イノベーション事業化推進賞」がある。今回グランプリに輝いたのは富士発條(兵庫県朝来市)とミズホ(東京都文京区)の2社。表彰企業にはは表彰状と純銀メダル、奨励金が贈呈される。



前回(第57回)の表彰式

第58回グッドカンパニー大賞受賞企業

| | 企業名 | 代表者名 | 所在地 | 事業内容 |
|---------------------|--------|--------|---------|---------------------------------------|
| グランプリ | 富士発條 | 藤井 啓 | 兵庫県朝来市 | 精密プレス加工、深絞り加工、精密バネの製造 |
| | ミズホ | 根本 裕司 | 東京都文京区 | 手術台・インプラントなどの医療機器の製造 |
| 優秀企業賞 <北海道・東北地区> | 丸大機工 | 渋谷 正敏 | 秋田県にかほ市 | 自動省力化機械、産業機械、半導体関連装置の製造および大物・精密部品の加工 |
| <関東地区> | ラスコ | 堀野 賢一 | 埼玉県加須市 | 半導体・液晶業界向け温湿度制御装置の開発・販売 |
| <北陸・甲信越地区> | ホリカフーズ | 五十嵐 一也 | 新潟県魚沼市 | 治療食・介護食・災害食・食肉缶詰などの製造・販売 |
| <東海地区> | やまと興業 | 小杉 知弘 | 静岡県浜松市 | 輸送機器・LED商品 |
| <近畿地区> | 三進金属工業 | 新井 宏昌 | 大阪府忠岡町 | スチールラックの製造および物流システムの開発・販売 |
| <近畿地区> | 野添産業 | 野添 智子 | 大阪府東大阪市 | 包装資材販売および再生品の製造 |
| <近畿地区> | ホリゾン | 堀 英陽 | 滋賀県高島市 | 製本関連機器、スマートファクトリー、ウェアブリント、アートドア、各関連事業 |
| <中国・四国地区> | オカネツ工業 | 和田 俊博 | 岡山市東区 | 小型農業機械および動力伝達装置の製造 |
| <九州・沖縄地区> | オーレック | 今村 健二 | 福岡県広川町 | 草刈機などの農業用機械器具などの製造 |
| 特別賞 | お茶の井ヶ田 | 井ヶ田 健一 | 仙台市青葉区 | 茶・菓子の製造・販売 |
| | 幸南食糧 | 川西 孝彦 | 大阪府松原市 | 精米・卸売りおよび食品などの製造、地域活性化事業など |
| | 第一精工舎 | 石田 恭彦 | 大阪市都島区 | 廃材活用したプラスチック製品などの製造 |
| | 太新 | 田端 陽子 | 東京都港区 | 水産物卸売業 |
| イノベーション事業化推進賞 | アイリス | 沖山 翔 | 東京都中央区 | AI技術を用いた医療機器の開発・製造・販売および研究開発 |
| | 野村乳業 | 野村 和弘 | 広島県府中町 | 乳酸菌飲料の開発・製造および機能性素材の開発 |

※敬称略

優秀企業賞

ラスコ

ラスコは1964年に冷凍・冷蔵機器設置工事で創業。70年代に冷凍車の普及で需要が減る中、大手露光機メーカーから装置の構想段階で高精度の温度管理・空調についての相談を受け、技術協力を決断した。同メーカーの設備を借りて研究開発し技術を確立。

80年に自社工場を建設し設備工事業から本格的なメー

カーに転身、第二の創業となる。

2002年に新工場を稼働させ、フル3次元設計と気流解析システム構築、第二工場建設など事業拡大の最中、リーマン・ショックで売り上げが激減。深刻な経営危機を工場売却など大規模なリストラと経営資源のコア事業への集中で乗り切る。この時の効率的な生産体制構築が現在のラスコの強みにもつながっている。

半導体露光装置などナノレベルの加工機を収納する筐体(きょうたい)と基準設定温度±0.002度C、空気

野添産業

野添産業は1959年に野添一夫会長が包装資材卸売りで創業後、段ボール製造業者に転換し、事業基盤を形成する。90年代のバブル経済崩壊後に受注が減少する中、荷崩れ防止に使用されるストレッチフィルムに着目。今後の梱包の主流になると見込み、1年分の仕入れ資金を投じてマレーシアのメーカーから直接買い付ける。その後、市場シェアを拡大していく。

ホリゾン

ホリゾンは1946年に電気器具の修理で創業し、電気計測器や理科実験用機器などのOEM(相手先ブランド生産)で発展。第1次石油危機を契機に成長分野を探る中、製本機器に将来性を見いだし、73年に卓上用製本機を世界に先駆けて開発する。行政・教育機関への販売を経て製本業界へ参入する。

76年に滋賀県高島市にびわこ工場を新設し、一貫生産

オカネツ工業

オカネツ工業は1964年に、岡山県内発動機メーカーの協同組合から焼入事業を分離して設立した。県下の刃切加工会社を傘下に收め、熱処理と歯車加工技術を軸に農業機械部品などを製造し、農機用トランスマッisionの組み立て手がけ事業基盤を形成する。92年から約10年をかけて、組み立て工場3拠点を設けるほか、塗装工場や自動ラック付き倉庫を稼働させ、小型農業機械部品

2006年に使用済みストレッチフィルムの処理に悩む顧客の声に応え、販売した責任の下、再資源化に挑み再生ペレットの製造に成功。ストレッチフィルム販売と使用済み品の回収を行い、リサイクルできる新たなエコシステムとして事業化する。

09年に奈良県安堵町に奈良工場を建設して以降、積極的に製造・販売拠点を増やすし、幅広い再生技術を持つ企業を傘下に收めるなど、資源再生の量と質を高め全国に商圏を広げ発展。ストレッチフィルム販売の国内シェア1割、業界第2位に成長している。

体制を構築。海外にも販路を開拓するとともに、丁合・無線とじ・三方断裁システムを開発、製本システムのメー

カーとして事業を拡大する。

世界でも珍しく、製本5工程「紙折り・丁合・針金どじ・のりとじ・断裁」の機械を手がけ、企画開発から製造、販売、アフターサービスまでをグループ内で一貫対応。7割超の部品を内製化することで、年間700種類、1万5000台超の機械を販売。約8割が25台以下の多品種少量に対応する。海外売り上げが6割を占め約120カ国に販売しており、製本機器販売台数は世界トップ水準を

の開発・加工・塗装・組み立てまでの一貫体制を築く。

2005年プロパー初となる和田俊博氏が社長に就任。M&A(合併・買収)により、板金・プレス加工の強化を図るとともに、中国・常州市に新工場を建設して現地市場に向けた地産地消を推進する。

また、精緻な在庫管理とマテハン・物流システムの強化で業務効率化とコスト削減を進めしていく。年間約400種類の組み立て品と7000種類の加工品を手がけるまでに業容を拡大している。

主力のトランスマッisionのほか、フロントアクスル

に販売することで事業基盤を築く。

15年以降はメーカーなどから廃材を仕入れ製品化し、廃材納入元へ販売するビジネスモデルを他社にも展開。金属や木片のほか粒殻や牡蠣殻などの地産廃材活用にも挑み業容を拡大する。

フリープレンド工法は樹脂パウダーに最大8割までの目的材(廃材)を混合・加熱し、ペレット化せず直接成形する。従来工法比約3割のコスト削減と最大約7割のCO₂削減効果がある画期的な技術。廃銅線を使用した殺菌性のある吊り輪をはじめ、さまざまな廃材を活用

清浄度「クラス1」の世界トップ水準の空調・温湿度制御が強み。独自の設計・解析システムで効率的な開発体制を築き、大型性能試験室を12室保有する顧客志向で、微細化が進む半導体製造プロセスにおいて不可欠な機器を提供している。

半導体関連業界で世界に挑む国内企業を技術面で支え続ける同社の存在意義は大きい。スーパーサイクルに突入したと言われる同業界において一層の受注増への対応も進めている。

再生ペレットを国内外に販売するほか、製品化した再生ゴミ袋は「東大阪ブランド」に認定され公園やアミューズメント施設で採用中。近年では再生ストレッチフィルムの開発にも成功した。地域の環境ビジネスを牽引しながら業容拡大を続けている。

野添智子氏が23年に社長に就任。再生原料の高純度化や使用済みフィルム再生の内製化など、積極的な投資を継続しており、循環型社会の構築に貢献する企業として、今後のさらなる発展が期待できる。

誇る。

優れた技術に優秀な技術者が集まる好循環の中、グループで約180件の特許を保有している。キャリアコースの自主選択やワーク・ライフ・バランス(WLB)支援、社員食堂の充実などの職場環境の改善に加え、待遇向上にも注力する。

職人の勘と経験頼りの印刷製本工場を自動化し、作業時間の大幅な短縮と作業者不足などの業界課題の解決に貢献する。さらに、製本工程の全体最適を実現するシステム開発など成長に向けた取り組みも進展している。

はクボタなど国内6割超の小型トラクターに搭載。また、12年に「電動ミニ耕運機」の発売以来、自社製品開発にも取り組み、アイスクリームプレンダーや除雪機など10機種を市場に投入した。農業で機械化が進むベトナムでは耕運機などを販売し、将来的に自社製品比率として3割を目指している。

多種多様な転職者が集まり、転職者比率は4割を超える。充実した社員食堂や待遇改善などもモチベーションの向上を後押しし、「オカネツフィロソフィ」でチーム力を高め、「夢ある挑戦」に挑んでいる。

し、機能性を持つプラ製品を開発。約70社と提携して組み合わせのレパートリーは700種(うち地産廃材100)に及ぶ。

現在工場はフル稼働中で、将来的に全国各地に同工法の提携企業を設け廃材の地産地消のエコモデル構築を目指す。また地産廃材による文具を使った小学生への環境学習など、地域の環境ビジネスやエコ意識普及に果たす役割は大きい。社会課題解決に取り組む環境配慮型企業の先駆者として、今後のさらなる発展が期待できる。

第一精工舎

第一精工舎の石田恭彦社長が前職時にプラスチック削減のビジネスモデルを考案する中、大手住宅設備メーカーから陶器廃材の再利用の相談を受け、試行錯誤の末、プラスチック原料に他素材を高比率で混合する「フリープレンド工法」を発明した。2001年に大手住宅設備メーカーの支援を得て起業する。翌年に工場を稼働し、陶器廃材を混ぜて陶器の質感を持つ水栓レバーなどに製品化して同社

Horizon 第58回グッドカンパニー大賞 優秀企業賞受賞

www.horizon.co.jp

ホリゾンは、製本5カテゴリーの機械を開発・製造する世界で唯一の企業で、世界約120カ国に販売。分野・業界の枠を超えるチャレンジを続けています。

株式会社ホリゾン
本社びわこ工場 滋賀県高島市新旭町
京都市 京都府京都市南区
TEL0740-25-4567(代)
TEL075-921-9211(代)

国内販売
ホリゾン・ジャパン株式会社
京都 / 東京 / 滋賀 / 福岡 / 仙台

海外販売
ホリゾン・インターナショナル株式会社
京都 / 滋賀 / 東京 / ドイツ / アメリカ / スウェーデン

Change the focus 視点と発想が世界を変える

フリープレンドインジェクション
開発No.62-11

放置された間伐材を活用した環境配慮型新素材

「森廃」は、自然の力で空気を浄化する、新しい木粉配合素材です。間伐材を原料とするごとに、高い消臭・抗菌効果を実現。家庭やヤシナリ、ベット用品など、幅広い製品に新たな価値をもたらします。

森廃の主な特長

●間伐材の有効利用による森林保全

●プラスチック使用量削減

●多様な製品への応用

●消臭・抗菌性能

ギフト・ショー春2025で商品多数展示しています!

第99回 東京インターナショナルギフト・ショー春2025

2025/2/12(水)~14(金) 東京ビッグサイト 小間番号 東1ホール T02-14

令和5年 環境省環境保全功労者表彰 令和5年 おおさか環境賞

株式会社第一精工舎

フリープレンド

QRコード